



令和3年度第4期

園だより



(令和3年8月23日～10月9日)

社会福祉法人 種の会 だいな幼児園

〒651-0064

神戸市中央区大日通 1 丁目 1-1

tel:078-252-3810 fax:078-252-3820

mail:daina@tanenokai.jp



理想の子育て方法とは？

園長 溝上 宏子

コロナ禍で開催され、賛否両論があった東京オリンピックではメダルラッシュが続いた日本。オリンピックまでの道のり、活躍し結果が出せた選手、惜しくも残念な結果になった選手、また、選手や開会を舞台裏で支えた方々それぞれにドラマがあったことでしょう。子ども達もメディアで見聞きしたようで毎日のようにオリンピックの話題が聞かれました。運動会のお稽古がにわかにならなくなってしまっていることもあり、子ども達から「オリンピックごっこしようよ！」と提案がありました。まずはオリンピックごっこ会議を開き、どんな種目が出るか、何が必要か、という話し合いがなされました。内容は走る、早歩き、後ろ歩き、スキップ、ジャンプで進む、ハイハイ、お尻スリスリで進む、マットで前回り、鉄棒でぶら下がり、前回り等が出ました。「1番の人は金メダル、2番の人は銀メダル、3番の人は銅メダルもらっていたよ。」という意見から、メダルをデザインして作成し、会議の2日後からほぼ毎日夕方にはオリンピックごっこが開催されました。競うということ、1番になるということ、特別にメダルをご褒美にもらえるということがとてもやる気を起こさせるようで顔つきや声の張りまで変化することに思っていた以上に驚かされました。自分の気持ちの中で1番になりたい、早くゴールしてみせる、といった気持ちが前に向く、前に進むことでその場の空気感まで変わることにも驚かされました。子ども達の様子から9月25日の運動会が楽しみです。

さて、先日朝のテレビで医学部に合格し引退を発表されているラグビー選手の福岡賢樹さんとそのご両親が出ておられました。文武両道の代名詞のような方ですが、ご本人にはどのように時間を使ってきたのか、またご両親にはどのような子育て方針だったのかをインタビューしていました。睡眠、練習、食事、自由時間、勉強時間という組み立ての中で1日24時間中、勉強時間はなんと毎日1時間のみだったそうです。医学部に行くこと決めた日から4年間、その生活を続けたそうです。

ご両親が気を付けてきたことは次の2点だそうです。①子どもがやりたいことをやらせる。(やりたいことが増え、忙しくなれば、自分で時間の使い方を工夫する。)②自分で考えさせる。(間違っただけを叱ったとしても、頭ごなしに怒鳴ったり、すぐ答えを親が出したり教えたりはしなかった。)子どもが考えている時、その様子を見守り、観察し、適切なタイミングで寄り添い、「じゃあ、どうすればいいと思った？」とされてきた様子がとても穏やかな雰囲気のご両親、ご本人から容易に想像ができました。

心配することが親の役割であるかのように子どもの行動を先回りして困らないようにしがちになりますが、子どもが“自分で決める、行動する、振り返って考える”ように仕向けて見守り、適切なタイミングで必要なサポートや言葉がけをしたいですね。



「環境」

山下 章乃

7月に、だいな幼稚園で「保育環境評価スケール（ECERS：エカース）」を行ないました。ECERSは、1980年にアメリカで開発された保育の質を総合的に測定するスケールで、毎年、職員研修として、5園の関西姉妹園で互いを評価し合っています。

だいな幼稚園でも、評価スケールの項目・指標を見ながら、必要な環境を考えたり、環境づくりを行なっています。最近増やしたコーナーに、ラキュー（現在、4・5歳児に大人気。タイヤのパーツは争奪戦。）、制作（素材を子どもが自由に使って、制作できる。今は、プリンセスグッズ制作が大ヒット！）、生き物コーナー（たかしさんが週末に生き物を捕獲。生き物が大好きな子ども達と毎日お世話をしています。）があります。新しい玩具や教材は、「子ども達の好奇心」「発見や学び」「友達や保育者との関わり」を大きく生み出します。

今年は、6名の評価者が姉妹園から来園しました。登園→サークルタイム→主活動→食事までの時間、園内を観察し評価点をつけていきます。子ども達は、評価者達が保育室に入ってくると、「お客さん？」「何してるの？」と不思議そうに近づいてきますが、評価者達は周囲に影響を与えないよう、子どもに話しかけたり関わったりすることなく、観察に徹するので、子ども達は次第に興味を失い、気にする様子もなく普段通りの姿で過ごします。項目の指標は、「不適切」「最低限」「よい」「とてもよい」環境が示されています。子ども達が、好きな遊びに没頭できる物的な環境が整っているか、子どもが過ごしやすい生活の流れや導線が整っているか、そして高得点の指標には「子どもの学びを深める＋αの保育者の関わりがあるか」が必ず入っています。

6名の評価者の点数には、当然ながら多少の差が出てきます。午後は、評価者達が「なぜその点数になったか」の根拠を伝え合い、協議して合意点を出していきます。だいな保育者達もそれを近くで聞いていて、評価者から質問を受けることもあります。評価者、保育者それぞれの「保育に対する思い」がよく見える時間です。

ECERSの評価を受けたり、姉妹園を評価していて感じることは、指標に沿って保育を「見つめる」ことが、自分の保育を問い直すことにつながっているということ、私たち保育者自身が、子ども達に影響を与える大切な環境であるということです。

姉妹園で「よい環境」を見つけた時は、それぞれの園にアイデアを持ちかえり、遠慮なく真似たり、取り入れたりしています。今後も、子ども達が楽しく充実した園生活を過ごせるよう、各コーナーの玩具充実、活動や行事の計画・準備、職員間の話し合いを重ねながら、よりよい環境を目指していきます。


【ECERSの項目】

室内空間 家具 室内構成 ひとりまたはふたりのための空間 子ども関係する展示 粗大運動遊びの空間
粗大遊びの設備・用具 食事・間食 排泄 保健衛生 安全 語彙の拡大 話し言葉の促進 自由遊び ごっこ遊び
微細運動（手や指を使う） 造形 音楽リズム 積み木絵本に親しむ環境 保育者による絵本の使用 自然・科学
遊びの中の算数 日常生活の中の算数 数字の経験 多様性の受容 ICTの活用 粗大運動の見守り 個別的な指導と学び
保育者と子どものやりとり 子ども同士のやりとり 望ましい態度・習慣の育成 移行時間と待ち時間 遊びと学び
の集団活動



4期 8月23日(月)～10月9日(土)の活動

| | |
|---------|-------------------------------------|
| 行事 | 8月26日(木)お誕生会 |
| | 9月16日(木)お誕生会 |
| | 9月25日(土)運動会 |
| マイニチリズム | ♪かっぱなにさまかっぱさま |
| 運動あそび | ・サーキット ・リトミック ・ふれあいあそび ・運動会の取り組み |
| 絵画・造形 | ・動物園プロジェクト ・色水遊び ・折り紙 ・ゆびえのぐ |
| 感触あそび | ・洗濯ごっこ |
| クッキング | にじ：スイートポテト そら・つばさ：豚汁(おにぎり) |
| 園外保育 | ・王子南公園 ・宮本公園 ・筒井公園 |



運動会の取り組み

かけっこ・リレー・競技（協技）・演技に取り組みます。その中で友達と力を合わせたり、力比べをしたりする経験をし、繰り返し取り組む中で、競技の「ルール」を理解します。運動会当日は、園児だけでなく、親子競技・保護者競技も行ない、参加者全員で運動会を楽しみます。

マイニチリズム

「かっぱなにさまかっぱさま」の曲で、「♪♪♪♪」のリズム打ちをします。

にじ組 …言葉のリズムに合わせてリズム打ちをします。

そら組
つばさ組 …言葉のリズムや曲のテンポを感じながらリズム打ちをします。



歌

「きらきらぼし」「南の島のハメハメハ大王」「おもちゃのチャチャチャ」「にじのむこうに」など、季節を感じる歌を歌います。

歌から季節や天気に興味を広げ、活動に繋げていきます。

誕生会

特別な雰囲気の中、みんなで誕生児をお祝いします。誕生児はみんなに注目されたり、インタビューに応える経験をします。

そら組
つばさ組
プロジェクト
チーム …司会やし物を自分達で企画・準備し、保育者と一緒に誕生会を作り上げます。

サーキット

毎週水曜日のサーキットで、下記をポイントにして取り組みます。

にじ組 …「両足ふみきりで跳び箱に乗る（グー・トン・パー）」と「手の力を使っておしりすりすり（平均台）」に挑戦します。

そら組
つばさ組 …「平均台を使い、腕支持で横移動」と「ブリッジ」に挑戦します。



動物園プロジェクト

子ども達の様子を見ながら動物園へ出かけていきます。その中で、子ども達からの動物に対する気づきを伝え合い、興味・関心から広げて活動していきます。運動会後から取り組みます。

絵画・造形

にじ組

…運動会を経験して、子ども達がどんなことを感じたのかみんなで話し合いながら絵画や造形を進めていきます。その中で、子ども自身が印象的だった出来事などを絵の具やクレパスを使って表現します。

そら組 つばさ組

…折り紙や切り絵などできるだけ自分たちでできるよう挑戦します。運動会の取り組みなどを通じて“印象に残ったこと”や“楽しかったこと”を思いのままに絵画で表現します。

クッキング

にじ組

…9月は、さつまいもを使ってスイートポテトを作ります。ふかしたさつまいもの匂いを嗅いだり、触ってみたりして材料のことを知ります。その後にさつまいもを潰したり、好きな形にしたりして作っていきます。

そら組 つばさ組

…9月1日は防災の日。この日の豚汁をみんなで作ります。出汁をとったり、材料を切ったりして美味しく作ります。また、前回のお米を炊くクッキングより、この日のおにぎりもみんなではじめから作っていきます。



だいな幼稚園 第3期 活動&行事カレンダー
8月23日(月)～10月9日(土)

| 8月 | | 活動 | その他 |
|------|---|--------------------|------|
| 8/23 | 月 | 運動会あそび | |
| 8/24 | 火 | 運動会あそび | |
| 8/25 | 水 | 体育あそび | |
| 8/26 | 木 | 誕生会 | |
| 8/27 | 金 | コーナー・ゾーン活動 | |
| 8/28 | 土 | | |
| 8/29 | 日 | | |
| 8/30 | 月 | 運動会あそび | |
| 8/31 | 火 | 洗濯ごっこ | |
| 9/1 | 水 | そら・つばさ：クッキング にじ：制作 | 防災の日 |
| 9/2 | 木 | 運動会あそび | |
| 9/3 | 金 | コーナー・ゾーン活動 | |
| 9/4 | 土 | | |
| 9/5 | 日 | | |
| 9/6 | 月 | 運動会あそび・ふれあひあそび | |
| 9/7 | 火 | 運動会あそび | |
| 9/8 | 水 | 体育あそび・にじ：クッキング | |
| 9/9 | 木 | 宮本小学校 運動会あそび | |
| 9/10 | 金 | コーナー・ゾーン活動 | 避難訓練 |
| 9/11 | 土 | | |
| 9/12 | 日 | | |
| 9/13 | 月 | 宮本小学校 運動会あそび | |
| 9/14 | 火 | 宮本小学校 運動会あそび | |
| 9/15 | 水 | 体育あそび | |
| 9/16 | 木 | 誕生会 | |
| 9/17 | 金 | 宮本小学校 運動会リハーサル | |
| 9/18 | 土 | | |
| 9/19 | 日 | | |
| 9/20 | 月 | | |
| 9/21 | 火 | 運動会あそび | |
| 9/22 | 水 | 体育あそび | |
| 9/23 | 木 | | |
| 9/24 | 金 | 宮本小学校 運動会リハーサル | |
| 9/25 | 土 | 運動会 | |
| 9/26 | 日 | | |
| 9/27 | 月 | リトミック・絵画 | |
| 9/28 | 火 | 園外保育(宮本公園) | お弁当日 |
| 9/29 | 水 | 体育あそび | |
| 9/30 | 木 | 制作あそび(折り紙) | |
| 10/1 | 金 | コーナー・ゾーン活動 | |
| 10/2 | 土 | | |
| 10/3 | 日 | | |
| 10/4 | 月 | 園外保育(王子南公園) | |
| 10/5 | 火 | 動物園プロジェクト | |
| 10/6 | 水 | 体育あそび | |
| 10/7 | 木 | 園外保育(筒井公園) | |
| 10/8 | 金 | コーナー・ゾーン活動 | |
| 10/9 | 土 | | |

お知らせ

- ◎園で使用しないおもちゃやお菓子を子どもが持ってきていることがあります。紛失やトラブル、アレルギー事故の原因にも繋がりますので園に持ってこないでください。
- ◎名前がない持ち物ものが多く困っています。全ての持ち物に分かりやすく記名をお願いします。ロッカーにご用意いただいている汚れ物用ビニール袋（1枚ずつ）とレインコートにも記名をお願いします。
- ◎園内でアタマジラミが発生しています。各ご家庭でお子さまの頭をチェックし、寄生がないかご確認をお願いします。アタマジラミは登園停止にはなりません。集団生活で寄生が見つかったら、家庭も含め広範囲に蔓延する可能性があります。寄生が見つかった場合は、医療機関や薬局でシラミ駆除薬品を購入し、対処して頂きますようお願いいたします。園にも速やかにお知らせください。また、予防のため、子どものシャンプーは大人の方がしっかりと洗髪してください。
- ◎10月2日（土）はなかはらこども園の運動会です。土曜保育はだいな幼稚園で合同保育を行いません。また、お弁当の持参もお願いします。お間違いのないようお願いいたします。
- ◎パンツをお貸しした場合は、新品のものをご返却ください。まだまだ暑い日が続きます。汗をかいたり、水・泥んこあそびをして着替えることがありますので、ロッカーの着替えは毎日補充してください。
- ◎ベルマークを集めています。回収箱は下駄箱上に設置しています。ご協力よろしくお願いします。
- ◎運動会のおけいこが始まっています。朝 9 時 15 分までに登園して頂くようお願いいたします。 ※宮本小学校に行き、おけいこする日もあります。



動物園プロジェクト

松村 崇司

季節はすっかり夏になり、毎日うだるような猛暑が続いていますが今日も子どもたちは元気に活動しています。今年度より異年齢のグループで始まった動物園プロジェクトも段々と定着しつつあるように見えます。

3期では新たな“ネタ探し”（子どもたちの興味・感心を見つける目的）として王子動物園へと出かけました。長らく閉館していた動物園内の“アマゾン館”へも行きました。普段は目にしない珍しい、それこそ名前の通り熱帯のアマゾンにいる動物たちが子どもたちを迎えてくれました。ワニやカメ、ヘビにコウモリやナマケモノなど私自身久しぶりに目にしたような気がします。子どもたちはワニを見て「口開けてるねー。なんでずっと口開けてるの?」「だいなみんなに食べ物ちょうだい！って言ってるんじゃない?」との声やぶら下がっているコウモリや飛んでいるコウモリを見て「反対になってるね。なんで?」「飛ぶ時だけ真っ直ぐになってるね。」と、子ども同士で会話のやりとりする姿がたくさん見られました。

毎回各グループ毎に“今日の動物園どうだった?”と振り返りをしています。「楽しかったー!」「次は〇〇見に行きたい!」などそれぞれ子どもたちの声があがるのですが、大人がびっくりするような声があがることもしばしば。「今日のコウモリなんで反対だったか（園に）帰ってから調べてみる。」と、ある子どもから声があがりました。帰園して間もなくその子は動物図鑑があるコーナーへ一直線。黙々と調べていました。そこからさらに驚くことが…「たかさーん!ここ（動物図鑑）に載ってないからipadで調べてくれない?」もう言うことが大人顔負けどころか、それを理解し大人と同じような感覚で物事を捉えるものですから、私たち保育者としても驚きどころか、思わず心の中で“すごっ…（凄い）”と行ってしまいました。

運動会の取り組みも始まり、4期は運動会モード一色になります。日常の取り組みからおけいこまでリハーサルも絡んでほぼ連日になることもしばしば。なので4期の前半～中盤は動物園プロジェクトはお休みします。この動物園に行かない期間が子どもたちの意欲や気持ちをまた醸成していくものだと思います。4期後半から始まる“動物園行き”にどんな子どもたちの姿があるのか楽しみです。





そら・つばさ組

3期の中で「お米」について学び、クッキングをしました。当園にお米を作って頂いている農家さんとオンラインにてつながり、“どうしたら美味しいお米が炊けるの？”や“どのようにしてお米が作られている？どんな形？”など直接お話をしました。実際にお米を作ってくださっている農家さんと繋がれたのですから、子どもたちは始まる前から興味津々、農家さんにも「直接毎日食べてもらっている子どもたちの顔を見れたことが何より嬉しいです。」と言って頂きました。今までにない取り組みと経験をし、子どもたちからは“いつも美味しいお米ありがとうございます”の声とともにお米を通じた食育にどこか満足げな表情を浮かべていたように思います。4期もこの経験を活かし、毎日食しているこのお米（ご飯や白米）についていろいろ子どもたちとともに調べてみたり、興味・関心を促していけるよう考えていきます。

そら・つばさ組・コアラグループ担任 松村 崇司



にじ組

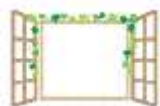


だいなの一階の長い廊下は、思わず走りたくなる廊下のように、4～6月は全力で走ってしまう子どもたちでしたが、7～8月に入り、保育者や友達に促されなくてもかっこよく歩く姿が見られ、成長を感じます。

プール遊びでは、水が苦手な子も回数を重ねるごとに水に慣れ、一緒に楽しむ姿が見られました。顔に水がかかっても平気になったり、顔を水につけられるようになったりとプール遊びを通して、たくさんの成長をみることができました。

運動会の練習が始まりました。手をつないで参加したり、教えあったりする姿はとても素敵です。みているとほっこりする場面が多数あります。運動会当日の子ども達の姿が楽しみです。

にじ組・パンダグループ担任 伊藤 絵未里



だいな窓から



登園後、なんだか気持ちが乗らなくてまだ2階に行きたくなかったり、自由遊び中に、1階に降りてきて、マドンナ（事務室）で過ごす子がいます。

正直、とても嬉しいです。事務をしながらお膝に座ってくれたら、とても癒されます。しかし、マドンナには何も遊ぶものがないし、活動は2階ですることが多いので、いつまでもマドンナにいてもらうわけにもいきません。2階に上がるよう促すべきか、2階の保育者に迎えに来るようお願いするべきか、本人が2階に行きたくなるまでここにいてもらってもいいかな…と私も葛藤しています。

そんなとき保育者は、マドンナに降りてきた子どもに対して「1階に来るのはいいけど、心配だから2階の先生に言ってからにしてね」「（時計の）長い針が5か6になったら2階に上がろうか。どっちがいい？」と、声掛けをしていました。そうすると、2階の先生に伝えに行ったり、「6にする！」と自分で決めて、時間になったら自分で切り替えて2階に上がることができていました。入園のころは毎日のようにマドンナにいた子が、今ではマドンナに来ることは少なくなりました。子どもたちの成長を感じることができて嬉しいです。

事務 揚村 麻菜美



7月上旬、新任研修がありました。内容は「運動会の実技研修」です。関西園の新任職員向けの研修ですが、だいな幼稚園からは新任でない職員も複数参加し、やる気満々！「体を動かして心が動く」をモットーに、様々な工夫を体得しました。

運動会のお稽古・当日には、子どもたちの心が動く瞬間がたくさんあります。一体、どんなドラマが待っているのでしょうか？ 運動会に向けての取り組みは、今日の様子やドキュメンテーションなどで伝えていきます。ぜひご注目ください！

※研修は、感染症対策を徹底して行なっています。

保育士 兼 法人広報 中村 聖子

第4期 食事だより

まだまだ暑い日が続きますが、夏バテはしていないでしょうか？暦の上では立秋も過ぎ、少しずつ夏も終わりが近づいています。

これから「食欲の秋」と言われるように、美味しいお野菜・果物・お魚がたくさんあります。栄養たっぷりの旬の食べ物を食べて秋を元気よく楽しんでいきましょう！

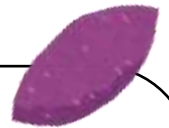
○旬の食べ物

さんま



記憶力の向上や脳の老化防止に効果があるDHAが多く含まれています。また、骨や歯の健康に欠かせないカルシウムとその吸収を助けるビタミンDも多く含んでいます。特に秋はさんまの脂がのる最もおいしい季節です。この脂を効果的に摂るには塩焼きや刺身よりもホイル焼きやスープにするのがおすすめです。

さつまいも



生のさつまいもを切ると断面が白いミルク状の液体出てきます。これを「ヤラピン」と言い、腸内環境を整える食物繊維と一緒に摂ると便秘の改善効果が期待できます。また、さつまいもは冷蔵庫に入れて置くと低温障害を起こして傷みが早くなってしまいますので常温で保存するのがおすすめです。

しめじ

しめじには様々な種類がありますが、よく食べられているのは「ぶなしめじ」です。糖質・タンパク質・脂質をエネルギーに変える時に働くビタミンB2が含まれていて不足すると口内炎など皮膚に異常が現れることがあります。汁物や炒め物にすると効果的に栄養を取ることが出来るのでおすすめです。



りんご

酸味の元のリンゴ酸やクエン酸などには疲労回復の効果があります。また、赤い皮にはポリフェノール含まれていて老化や動脈硬化を予防する抗酸化作用があります。これらは皮ごと食べることで栄養をより効果的に摂取することが出来ます。サラダに入れて食べるのもおすすめです。



○お月見の話

お月見には収穫物をお供えします。十五夜（今年は 9 月 21 日）のころは里芋の収穫の季節なので「芋名月」、十三夜は豆や栗の収穫の季節なので「豆名月」、「栗名月」（今年は 10 月 18 日）という呼び方をします。



<お月見に食べるもの>

日本では、収穫されたばかりの里芋や団子、餅などの丸いものを供えて食していました。中国では小麦粉に砂糖や卵、油を練った生地で松の実やごま、くるみ、干し柿などを用いた餡を包んで円形にして焼いた「月餅」が供え物として代表的です。

だいな幼稚園では・・・

お昼ごはんには栗ごはん・秋刀魚の塩焼き・枝豆の和え物・けんちん汁を食べます。中に、里芋や枝豆、栗が登場します。

○9月1日は防災の日

日本は地震や台風、津波や豪雨などの災害が発生しやすい国です。阪神淡路大震災や東日本大震災など様々な災害に見舞われてきました。そのような災害による被害を少なくするために「防災の日」が設けられました。今回は災害に備えるために「非常食」についてご紹介します。

<食べ物の備蓄はどうして必要？>

災害が起きた時、救援物資がすぐには届かなかったり、コンビニなどのお店には人が多く来てすぐに商品がなくなってしまうかもしれません。そのため最低でも3日間～1週間分の備蓄が必要とされています。そのため、「非常食」を備えておくことはとても重要な事なのです。

<何をどれだけ備えておけばいいの？>

※大人2人子ども2人の家族の場合

- 水（2L）：18本（1日1人3L）
- お米（パックやアルファ化米）：36パック
- 缶詰（お肉やお魚）：9～12缶

ローリングストック



※必需品の水の他に、主食のお米やカップラーメン、主菜のお肉やお魚が入った缶詰などがおすすめです。他にも乾物や乾燥野菜、チョコレートやビスケットなどのお菓子もあれば良いでしょう。ローリングストック（買い置きしたものを賞味期限が古いものから使って一定量の食品が家庭内で常に備えられていること）をすることで消費期限切れも防げます。

だいな幼稚園では・・・

調理せずに食べることでできるアルファ化米・水・乾パンを災害時に備蓄しています。

○だいなレシピ（うどんかりんとう）

<材料>

- ・ゆでうどん 1パック
- ・薄力粉 大さじ 1/2
- ・油 適量
- ・黒糖 20g
- ・水 8ml

<作り方>

- ①うどんをポリ袋に入れ薄力粉をまぶす。
- ②①を油できつね色になるまで揚げる。
- ③黒糖を水で溶かしたものを②に絡める。

※この時に水分が多いと、完成した時にしなっとなってしまう。



黒糖の代わりに、コンソメ粉を振りかけてもおいしいです！



○お台所からのメッセージ

だいな幼稚園の子どもたちは、お食事の前にお台所の先生の献立紹介を聞きます。ベルの音が鳴ると献立紹介の始まる合図になっていて、「チリリリ〜ン」と音が鳴ると、「紹介だー！」「わぁぁ〜！」と嬉しそうに待っています。先日は、お台所が少し忙しく、献立紹介をすっかり忘れてしまった日があったのですが、3歳児の子どもたちが、「献立紹介しないの〜？」と声をかけてくれました。毎日子どもたちと関わる機会があると、「お台所の先生」ではなく、「おすす先生」と名前で呼んでくれるようになってとても嬉しいです。これからもたくさん子どもたちと関わっていただけたいと思います。

栄養士 二宮 鈴菜

クッキングで3歳児の子どもたちとクッキーを作りました。粉と砂糖が入ったビニール袋にバターを入れると3歳児の男の子が「とってもいいにおいがするねぇ〜」と喋ってクッキーの生地を揉んだりこねたりする姿が見られました。自分たちでこねた生地を袋から取り出し、「かたい！」と言いながら一生懸命薄くのばしていました。そしていよいよクッキー型で型抜きをするときは、「ハートにする！」「メロンにする！」などと言ったりして譲り合いながら自分の好きな形を選んでいました。その後、おやつ時間に焼きあがったクッキーを食べると「サクサクして美味しいねぇ〜」と喋っていたり、「これちょっと固いねぇ〜」などと言いつつ食べている姿を見てとても嬉しかったです。クッキングを通して子どもたちが食べる楽しさを見つけるきっかけになるといいなと思います。

栄養士 山本 菜那

お昼ごはんの時に、5歳児の女の子が4歳児の男の子のお皿に残っているごはん粒やおかずをスプーンで丁寧に食べやすく寄せている姿を見ました。4歳児の男の子は「ありがとう」と笑顔で食べていて、これからの子どもたちの成長が楽しみだと思いました。

調理士 荒巻 美穂



#ユナタン=2

2021年8月 片山喜章

魔法の言葉

ある園の2歳児クラスでの出来事です。ポール（仮称）は、月齢も高く、言葉数も多く、自分からトラブルを起こすことは滅多にない男児です。その日もお気に入りのブロックで彼なりに立体を組んでいました。L字型から凹型に、何やら素敵な箱かビルが出来そうです。その様子を横でジョン（仮称）がじっと見ていました。おそらく自分も同じ遊びがしたくなったのか、ポールのほうに寄って来ました。ジョンは月齢が低くまだまだ言葉で思いを表現できません。活発なポールと言葉よりどちらかと言えば手の方が出てしまうジョンの2人は、ふだんからいっしょに遊ぶ場面が多く見られます。不思議な気がします。じっくり観察していると、彼らは兄と弟のような、つまりポールが主導でジョンはポールからいろいろ学んでいる、そんなふうに見えることがよくあります。

その日、ポールはたくさんのブロックを使っていました。ポールのブロック遊びが気になって寄ってきたジョンに対して、ポールは突然「だめ～！」とジョンを寄せ付けまいと大声を出しました。ポールは「ジョン君、あっち」と言葉で自分の気持ちを伝えて自分の使っていたブロックとテリトリーを守ろうとしました。ジョンはそんなことはお構いなしにポールのテリトリーに侵入してきました。「ジョン君、だめ～、あっち」とポールの声。するとジョンはポールを押し倒してしまっただけです。そしてすかさずポールの目の前にあるブロックをいくつか掴みました。

一瞬の出来事で止めようもありませんでした。ジョンは自分が手にしたブロックの1つをポールに手渡そうとしました。きっといっしょに遊びたかったのでしょう。ジョンに倒されたポールは、泣きはしませんでした。その場にブロックを置いてジョンから離れるようにさっさと壁際の棚に向かっていきました。そしてそのまま黙って立ち尽くしてしまいました。

このようにポールが遊んでいるところにジョンがやってきて、いっしょに遊ぼうとしても、結局、遊びを壊すような場面は、これまで何度かありました。そして、しばらく壁際で固まっていたポールは急にジョンのところへ駆け寄り、ジョンを押し倒してしまいました。ジョンは、ふいを食らった感じで、泣いたり怒ったりせず、

ただ茫然とポールの顔を見つめていました。ポールの方は、何かしら悪い事をしたような気まずい表情になり、花子先生の方をじっと見つめます。花子先生は何も言いませんでしたが、気持ちのなかでは、「いま、ポールはジョンに“ごめんなさい”が言えそうな気がする」という願いを表情に浮かべて、ポールに伝えているようでした。花子先生の気持ちを感じ取ったポールは、戸惑いとも気まずさとも何ともいえないような表情になり、その場で下を向いてしまいました。ジョンだってポールを最初に押し倒したのに！ 花子先生、なぜ、ポールにだけ“ごめんなさい”の言葉を期待するの？ 不思議な気がします。この場面を見ていた他の先生たちからもポールに“ごめんなさい”の言葉を期待する表情がありました。

ポールとジョンのいるあたりの空気は重く澱んでいます。そのとき、少し離れた場所に居た百合子先生から「仲良しなんだから」という言葉が飛んできました。それだけです。「仲良しなんだから」という響きは瞬く間に室内に拡がり、ポールは急に笑顔になりジョンをギュ〜とハグし、ジョンも嬉しそうにギュ〜とし返して、そのまま2人は座り込んで、彼らなりのやり方でブロック遊びに興じることになりました。言葉の意味は理解できなくも、言葉に宿る意味は感じ取れるのですね。

花子先生は、このときのことを振り返ります。ジョンがポールを倒したのは、「いっしょに遊ぼう〜」の非言語的な表現で、ポールも実はそれをわかっていたが自分一人で遊びたい思いの方が強かった。ポールがジョンを倒したのは、良くないことだとわかっていた。だからすぐに叱られまいかと保育者の方を見た。しかし、ポールの気持ちを考えると、そこで“ごめんなさい”という言葉に期待するのは、良くない意味での保育者気質。「ごめんなさい」を言うなら、ポールではなくて保育者（花子先生）がポールに成り変わってという方が良く、2歳児にとって、それが保育者の役割としての「トラブルの仲裁行為」と解せるかもしれない。

しかし、「迷い」「葛藤」満載のあの場のどんより重たい空気を一気に払いのけたのが百合子先生の「仲良しなんだから」というたった一言でした。

保育者の言葉は、多種多様、多彩多岐で、それによって、子どもたちの気分や場の状況を大きく変えます。「指示したり命令する言葉」、「お願いしたり誘ったりする言葉」、これらの言葉は一方通行です。「仲良しなんだから」はなんでしょう。この場面では、まさに、おひさまのような言葉でした、ね。